

## 第2回 日比谷地区（内幸町一丁目街区）まちづくり勉強会 [議事要旨]

---

(開催要領)

1. 会議名 第2回日比谷地区（内幸町一丁目街区）まちづくり勉強会
2. 日時 2020年2月18日(火)16:00～17:30
3. 場所 千代田区役所8階 第1委員会室
4. 出席 [勉強会構成員]

(行政関係)

千代田区環境まちづくり部 まちづくり担当部長  
景観・都市計画課長  
麹町地域まちづくり担当課長

(内幸町一丁目街区関係)

エヌ・ティ・ティ都市開発株式会社  
第一生命保険株式会社  
株式会社帝国ホテル  
東京電力パワーグリッド株式会社  
東京電力ホールディングス株式会社  
日本電信電話株式会社  
日本土地建物株式会社  
三井不動産株式会社

[オブザーバーを含むその他の参加者]

内幸町一丁目関係者  
内幸町町会関係者  
有楽町一丁目関係者  
有楽町町会関係者  
東京都都市整備局都市づくり政策部  
東京都建設局公園緑地部

[事務局]

千代田区環境まちづくり部地域まちづくり課

(議事次第)

1. 開会
2. 設置要綱・運営ルールの確認等
3. 内幸町一丁目街区のまちづくりの方向性
4. 閉会

(事務局配付資料)

- ・日比谷地区（内幸町一丁目街区）まちづくり勉強会〔議事要旨〕（案）
- ・日比谷地区（内幸町一丁目街区）まちづくり勉強会設置要綱（案）
- ・日比谷地区（内幸町一丁目街区）まちづくり勉強会運営ルール（案）
- ・内幸町一丁目街区のまちづくりの方向性

(参考資料：内幸町一丁目街区関係者持参)

- ・地域特性を踏まえた、当街区が目指すまちづくりの方向性について
- 

## 1. 開会

○千代田区環境まちづくり部 まちづくり担当部長

- ・有楽町一丁目街区については、日比谷エリアまちづくり基本構想を受け平成 23 年度にまちづくり勉強会を開催している。勉強会では街区の詳細について検討が行われ、地区計画が変更された。その後、東京ミッドタウン日比谷の開発、エリアマネジメントによる質の高い維持管理が展開されている。
- ・一方、内幸町一丁目街区については、これまで地権者の方々の中で、まちづくりの検討が重ねられてきた。昨年 11 月に、区に対して、周囲の方々も含めた勉強会を行いたいとする依頼があり、12 月 25 日に第 1 回勉強会を開催させていただいた。
- ・本日は前回いただいた意見をキーワードとしてまとめ、日比谷エリアまちづくり基本構想と関連付けながら、内幸町一丁目街区のより良いまちづくりの在り方・方向性について、また当街区が担うべき役割や求められる動線、空間、機能等についてご議論いただきたい。

## 2. 設置要綱・運営ルールの確認等

○千代田区環境まちづくり部 麹町地域まちづくり担当課長

- ・前回の議事要旨の確認をしたい。事前にもお配りしているが、こちらで差し支えなければ確定としたい。

○参加者

- ・異議なし。

○千代田区環境まちづくり部 麹町地域まちづくり担当課長

- ・設置要綱と運営ルールの案については、前回たたき台をお示ししている。今回の案で一部表現の修正等を行っている。こちらについても事前にお配りしているが、特にご意見等がなければ、確定して進めたい。

○参加者

- ・異議なし。

○勉強会構成員（内幸町一丁目街区関係）

- ・特に異議はないが、資料等を配布するときは、事前に構成員各社で内容の確認をとらせていただきたい。

○千代田区環境まちづくり部 麹町地域まちづくり担当課長

- ・区が主催の勉強会のため、基本的に配付資料等は公開するものであるが、勉強会参加者の皆様に事前に確認させていただく。

### 3. 内幸町一丁目街区のまちづくりの方向性

○千代田区環境まちづくり部 麹町地域まちづくり担当課長

- ・今回は、内幸町一丁目街区のまちづくりのあり方、方向性について議論したい。千代田区にて前回の意見、上位計画、平成23年の基本構想等のポイントを整理し、今後の議論に向けたキーワードをまとめた。
- ・また、内幸町一丁目街区の構成員からも、本日のキーワードの中身について肉付け・掘り下げた資料をお持ちいただいた。

⇒資料「内幸町一丁目街区のまちづくりの方向性」：事務局にて資料読み上げ

⇒資料「地域特性を踏まえた、当街区が目指すまちづくりの方向性について」：勉強会構成員（内幸町一丁目街区関係）にて資料読み上げ

○千代田区環境まちづくり部 麹町地域まちづくり担当課長

- ・ただいまの説明に関して、キーワードごとに議論させていただきたい。

[キーワード：歩行者ネットワークについて]

○勉強会構成員（内幸町一丁目街区関係）

- ・南北のネットワークについては、周囲の動線を街区の中で上手く接続できれば良いだろうが、東西については銀座方面との間にJR高架があり分断されている。一方で、高架下のリニューアルという話も聞いており、その中で貫通できる可能性があれば、銀座方面とのつながり方も変わる。そういったことも意識した計画を考えたい。
- ・日比谷公園との歩行者ネットワークについては、道路上空の公園整備ということで国家戦略特区の中でエントリーさせていただいている。より積極的に公園とまちをつなぐことができると考えている。日比谷公園のランドデザインを踏まえ、東京都さんとも相談して検討していきたい。

○東京都建設局公園緑地部

- ・国家戦略特区の中でも提案されているが、アクセスシビリティの改善として、公園を広げていく考え方について捉えていきたい。
- ・具体的な整備の在り方については東京都公園審議会へ諮問を行い、専門部会により議論をいただいている。広がっていく空間や、つながる空間が魅力的であれば公園の価値を高め、

またまちの価値も高まるということで、いろいろご意見をいただいている。

○有楽町一丁目関係者

- ・有楽町一丁目地区の開発でも日比谷公園とまちとの一体感について検討していた。日比谷通りで分断されていることが、当時から大きな課題として認識されており、実際日比谷公園でイベントがあっても、みゆき通りのところまでなかなか人が流れてこない、回遊できないという状況がある。公園とまちをつなぐネットワークについて検討いただきたい。

○有楽町町会関係者

- ・地震などの大きな災害時に日比谷通りは緊急車両の往来が激しくなるだろう。その時に日比谷公園と有楽町地区が日比谷通りを挟んで分断されていると、日比谷公園に避難することも支援をすることも非常に難しくなる。今回の内幸町の開発で何らかの前進があることを期待している。

○千代田区環境まちづくり部 まちづくり担当部長

- ・銀座方面への東西ネットワークに関しては、JR 高架だけでなくその先のK K線もセットで考える必要がある。
- ・東西も重要だが、区としては丸の内仲通りの延伸としての南北方向の歩行者動線について思い入れがある。日比谷ミッドタウンでは、一部歩行者専用にした日比谷仲通りが創出された。今度は、その機能を内幸町にも延伸し、内幸町の仲通りといえるようなものをつくって欲しい。敷地内のため道路の位置づけとはならないが、グラウンドレベルで、かつ青空の歩行者専用道の役割を担っていただきたい。

[キーワード：広場空間について]

○有楽町一丁目関係者

- ・広場を活用する段階では、景観や屋外広告物の規制との関わりが多くなる。日比谷公園や日比谷通りに面したところのデザインを考える一方で、内なる空間については、どのように活用していくかを検討する必要があるだろう

○千代田区環境まちづくり部 まちづくり担当部長

- ・6ha という大きなまちを周辺に開いていく上では、災害時の視点も認識しながら計画して欲しい。

○千代田区環境まちづくり部 麹町地域まちづくり担当課長

- ・平成 23 年の日比谷エリアまちづくり基本構想における「賑わいのある広場空間」は有楽町一丁目街区を想定している。内幸町における広場については、これからの議論となるので、今後整理していきたい。

[キーワード：みどりについて]

○千代田区環境まちづくり部 景観・都市計画課長

- ・現在、緑の基本計画の改定作業に取り組んでおり、検討会の学識経験者からは、みどりの

活用や維持管理の視点についてご指摘をいただいている。昨今は、みどりや自然の多様な機能の捉え方として、グリーンインフラの概念が提唱されている。この街区は、グリーンインフラの検討をするのにふさわしい規模感。例えば、千代田区の中でも標高が最も低い地域であることを捉えて、雨水等をどのように街区の中で受け止めるか等の観点からみどりを計画するような考え方があっても良いのではないか。

- ・緑化率が何パーセントだといったアウトプットだけでなく、防災面や来街者のコミュニティなども念頭におきながら、この地域で活動交流する人たちが満足できるようなみどりを設えていくことが必要だと思う。

○東京都都市整備局都市づくり政策部

- ・都心の開発の際にみどりをたくさん作っていただけるよう、これまでも制度も改正してきた。
- ・ミッドタウンでも先行的に行われているが、日比谷公園側から一体的に見えるような視覚的效果のあるみどりについて考えていただきたい。日比谷公園からの連続性や広場の抜け感、公園がまちに広がっていく上で、みどりのキーワードは大きい。

○東京都建設局公園緑地部

- ・日比谷公園が核となってみどりをまちに広げていく。そして、芝公園、浜離宮などと大きなみどりをつくっていくことが大切。そのために、内幸町地区の中でもみどりがネットワークするようお願いしたい。
- ・街区と日比谷公園とのみどりのつながりについては、その奥にある皇居や皇居外苑という大きなボリュームも踏まえて、四季としても高いスキルの緑の空間をぜひ主張していただきたい。生態系といった部分も視野に入れて検討いただきたい。

[キーワード：景観について]

○勉強会構成員（内幸町一丁目街区関係）

- ・当地区内には、国賓級のゲストをもてなす迎賓機能や重要なインフラ設備があるため、建物を1回壊して建直すというような簡単なことはできない。機能を継続させながら段階的な整備が必要と考えている。事業的な制約も今後検討していかなくてはいけないが、ある程度建物を集約する等して、高層化も一部視野に入れて考えていく必要があると思っている。そうすることで、広場などのオープンスペースも確保できると考えている。

○千代田区環境まちづくり部 景観・都市計画課長

- ・皇居を中心としたすり鉢状のスカイラインの形成ということもあるが、日比谷公園の位置づけについても考える必要がある。皇居に準じるような空間として考えるところもあるかもしれない。また、我が国はじめての美観地区という歴史的経緯もある。
- ・今後、東京都による景観の指導があり、区においても景観計画の策定に参画いただいた学識経験者等からお考えをいただく機会もある。そうした際に、すり鉢状のスカイラインだけでなく議論もあるだろう。

- ・高さだけでなく、外構周りの快適性や、みどりや広場のネットワーク、近景・遠景のバランスも含めた見え方についての解釈、議論もある。
- ・ここは旧美観地区ということもあり、屋外広告物に関しては条例で厳しく制限されている。一方で、大丸有でもそうだが、自立的で透明性ある組織が運営できるのであれば、広告物による新たな景観形成のあり方についても考えていって良いのだと思う。景観審議会の中でも、屋外広告物の千代田区としてのガイドラインを検討しているところだ。

[キーワード：安全・安心について]

○有楽町一丁目関係者

- ・震災の時に日比谷公園に帰宅困難者が集まったが、日比谷通りを越える際に相当の人が滞留していた。日比谷公園へのアクセスが大きな要素。
- ・街区の中にも防災拠点的なものが必要だろう。日常的にも何かあったときにコントロールできるようなものが良いのではないか。

○勉強会構成員（内幸町一丁目街区関係）

- ・安全・安心・防災という観点は、常に最先端の内容を検討すべきと考えている。特にこの地区は、国際都市東京の最も中心の場所にある。地権者を見ても、インフラ・おもてなし・まちづくりなど様々な分野において国内有数の強みを持つような企業があり、そういう強みを活かして、かつ日比谷公園の隣接であることも意識しながら、安全・安心・防災に取り組んでいきたいと思う。

○東京都建設局公園緑地部

- ・都立公園は防災上重要な役割があり、日比谷公園については、区の防災計画の上でも位置づけがされている。公園としてその役割を担うためには、私共だけでなく、地域のまちの皆様や地元千代田区一緒に支えていく必要があると考えている。

○千代田区環境まちづくり部 麴町地域まちづくり担当課長

- ・千代田区の昼間人口は80万人ともいわれているが、帰宅困難者に関してはすでに区の全域で話題となっている。建替えが進んでいけば来街者も増える。周辺への配慮も必要。最近、水害、台風などの被害も話題になっており、地下ネットワークの検討においては、この街区だけということではなくて周辺との関係の中で、水害対策も考えていかなければいけない。日比谷交差点付近は千代田区の中でも一番標高が低いところであり、その点も忘れないで検討して欲しい。

[キーワード：土地利用について]

○勉強会構成員（内幸町一丁目街区関係）

- ・この街区は大丸有エリアと新橋エリアをつなぐ非常に重要な場所。東京都、千代田区と相談しながら、迎賓機能、都市のインフラ機能、拠点にふさわしい新たな都市の機能を実現したいと思っている。

- ・いろいろなエリアに囲まれていることは大きな個性。土地利用にあたっては、周辺エリアとつながる結節点としてのこれまでの議論を踏まえ、拠点として考えていきたい。

○有楽町一丁目関係者

- ・有楽町一丁目エリアは映画演劇などのエンターテインメントの拠点。丸の内エリアはビジネスの拠点。内幸町地区にはぜひ、迎賓、企業立地、そういった機能を活かした拠点づくりをしていただきたいと思う
- ・賑わいのあるまちづくりを念頭に、有楽町はもちろん、銀座、新橋ともつながる結節点としてのまちづくりを目指して欲しい。

○東京都都市整備局都市づくり政策部

- ・国家戦略特区の資料に ICT とあるように、最先端の技術については、いろいろと知恵を絞っていただきたい。
- ・一方で、長期のスパンで街区内の建物が更新されていくことも考えると、将来の技術革新にも柔軟に対応していけるようなハード部分の検討も必要。
- ・賑わいについては、大丸有とは違う日比谷エリアとして、文化・交流を含めた提案をまとめて欲しい。

○千代田区環境まちづくり部 景観・都市計画課長

- ・大丸有地域では、スマートシティに向けた取り組みが行われている。日比谷内幸町エリアも、連携しながら独自の展開をしていくのだろうが、スマートシティはどこか一つの分野ということではなく、あらゆる分野に関わる都市の高機能化だと思うので、そこは強く打ち出していきたい。

○千代田区環境まちづくり部 麹町地域まちづくり担当課長

- ・来街者の増加に伴って交通インフラ等にも影響が出るだろう。構想的なものに向けた意見交換なのでいい話多いが、そうじゃない部分のネガティブチェックについても取り組んで欲しい。必要に応じて千代田区にも相談いただきたい。

#### 4. 閉会

○千代田区環境まちづくり部 麹町地域まちづくり担当課長

- ・今回設定したキーワードの方向性で、それぞれの議論を深めていきたい。
- ・まずは、今日いただいた意見を踏まえ、内幸町一丁目街区の方と検討に向けた中身を詰めてみたい。その上で、次回勉強会の準備ができれば、改めて開催についてご案内したい。